

第5回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成29年11月21日(火) 14:00~15:30
2. 出席者 中川直子委員、中室雄俊委員、吉田育弘委員
加藤学長、宮下理事(教育)、岩井理事(総務)、和田副学長(企画)、佐野副学長(研究)
陪席者 高橋副学長(国際交流・地域連携担当)、会計担当監事、業務担当監事

3. 議 題

◎審議事項

- 1 平成29年度補正予算(案)について(資料1)

◎報告事項

- 1 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に活用した主な取組事例の公表について(資料2)
- 2 科学研究費助成事業の平成29年度配分結果及び平成30年度申請、採択状況について(資料3)
- 3 図書の推薦について(資料4)
- 4 「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告」に関する文部科学省との意見交換会について(資料5)

◎その他

4. 議 事

◎審議事項

- 1 平成29年度補正予算(案)について
総務担当理事より、資料1に基づき、平成29年度補正予算(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

◎報告事項

- 1 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に活用した主な取組事例の公表について
企画担当副学長より、資料2の1点目の意見について、また2点目の意見については総務担当理事より説明及び報告があった。
- 2 科学研究費助成事業の平成29年度配分結果及び平成30年度申請、採択状況について
研究担当副学長より、資料3に基づき、科学研究費助成事業の平成29年度配分結果及び平成30年度申請、採択状況について報告があった。
- 3 図書の推薦について
研究担当副学長より、資料4に基づき、本学学生に読ませたい本のご推薦を経営協議会委員にご推薦頂きたい旨の報告があった。
- 4 「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告」に関する文部科学省との意見交換会について
学長より、資料5に基づき、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告」に関する文部科学省との意見交換会について報告があった。
○主な意見は次のとおり
・採用者に対する評価の部分について、採用1年目に評価をするのは難しいため、中堅になった時に評価するか、または学生に対して、管理職になった時には母校に報告させるというようにするのはどうか。
県が、管理職の情報を出すことはできないが、大学が努力すればそれらの情報は集められるため、

学生の追跡は可能ではないか。

報告するということをシステム上、しっかり作っておくべきであり、大学と学生の関係も良好にしておいてほしい。

- ・教職大学院を修了したストレートの学生は、学部卒業者とは違うため、初任者研修の一部分については免除可能である。それには、教職大学院の学生の質の向上が求められる。
県と大学関係をよくすれば、重複している研修や授業もなくなるのではないか。
- ・現職教員が悩んでいることは、教科の準備である。これを大学の4年間でできるとは思えない。
- ・大学で学んできたことを現場でどう繋げるかの実感がなく、子どもや保護者との関係で悩む学生がいるため、現場での実践を増やしていくべき。